

源氏物語の世界展

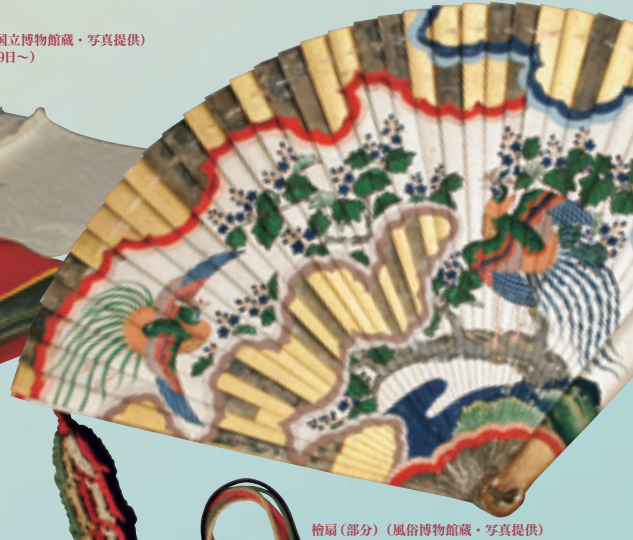
広島県立歴史博物館開館35周年記念 令和6年度 秋の特別展

源氏物語の世界展

広島県立歴史博物館開館35周年記念 令和6年度 秋の特別展



五衣・唐衣・裳(部分)
(秩父宮紀勢津子殿下所用 京都国立博物館蔵・写真提供)
※展示替えあり：展示期間(10月29日～)



櫛扇(部分)(風俗博物館蔵・写真提供)



『源氏物語』第7帖「紅葉賀」青海波の一場面を再現した1/4模型(部分)(風俗博物館蔵・写真提供)



五衣・唐衣・裳
(秩父宮紀勢津子殿下所用 京都国立博物館蔵・写真提供)
※展示替えあり：展示期間(～10月27日)

令和6年
9.27金
→ **12.1**日

開館時間
午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
※初日の入館は午前10時から。
※開館情報等に変更の生じる場合がございます。
最新情報は、ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)HP・Xで。

休館日
月曜日(ただし10月14日、11月4日は開館)
10月15日(火)、11月5日(火)

【主催】源氏物語の世界展実行委員会(ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)、広島テレビ)
【共催】中国新聞備後本社
【後援】福山市、福山市教育委員会、福山商工会議所、広島経済同友会福山支部、一般社団法人福山青年会議所、一般社団法人広島県観光連盟、山陽新聞社、中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、エフエムふくやま、尾道エフエム放送
【企画協力】井筒企画



● JR福山駅 福山城(北口)から西へ400m
● 山陽自動車道 福山東・福山西インターから約20分
● 山陽自動車道 福山SAスマートインターから約15分
● 普通自動車の駐車場は、博物館北側、ふくやま美術館との間に市営駐車場があります。
※バス(大型・中型・マイクロ)で来館されて駐車場をご利用の場合は、事前に福山城博物館にご連絡ください。(福山城博物館 TEL.084-922-2117)

35th ANNIVERSARY
ふくやま 草戸千軒ミュージアム
(広島県立歴史博物館)
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY
〒720-0067 広島県福山市西町2-4-1 TEL 084(931)2513 FAX 084(931)2514
URL: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/> E-mail: rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp



ホームページ



X(旧ツイッター)

35th ANNIVERSARY
ふくやま 草戸千軒ミュージアム
(広島県立歴史博物館)
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

入館料
一般1,100円(900円)、大学生・高校生700円(500円)、
中学生・小学生350円(280円)
※()は前売り及び団体料金(20名以上)。
※学生の方は、学生証を提示してください。
※身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳の所持者と
介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳を提示してください。
◆前売り・当日券とも、ローソンチケット【Lコード:64056】及び広島県立歴史博物館の受付窓口で販売しています。

よみがえる平安の雅

『源氏物語』の一場面を1/4で再現した模型を展示します。
場面は、第7帖「紅葉賀」で、光源氏が「青海波」の舞を舞っています。



源氏物語の世界展

広島県立歴史博物館開館35周年記念 令和6年度 秋の特別展

令和6年度秋の特別展では、紫式部が身を置き、また『源氏物語』の舞台ともなった平安時代の文化を貴族社会の衣食住を中心に立体的・具体的に再現し、『源氏物語』の世界の魅力を紹介します。

本年、紫式部を主人公とする大河ドラマが放送されており、その著書『源氏物語』が注目されています。『源氏物語』は、主人公の光源氏を通して平安時代の貴族社会を描いた日本最古の長編小説であり、日本文学の最高峰とも称される作品です。平安時代には、中国からの影響が薄れた日本独自の「国風文化」が形成されており、その特徴が『源氏物語』の中にもよく表されています。ここでは、平安貴族文化の衣食住を示す作品の中から、いくつかをご紹介します。

(作品の所蔵と写真提供は、全て民俗博物館。)



宮中で用いられた檜製の扇。金や胡粉・紅・緑青などでおめでたい柄が描かれます。



牛車

牛車は、中国から伝わったとされています。平安時代には貴族の一般的な乗り物でした。移動のための機能性よりも使用者の権威を示すことが優先され、重厚な造りや華やかな装飾性が求められました。

展示解説会

(入館券が必要・申込不要)

日時 | 9月29日(日)、10月20日(日)、
11月3日(日・祝)
午後1時30分～午後2時30分

関連行事 (無料・申込不要・各回280名・先着順)

開催記念講演会・博物館大学
会場はいずれも当館講堂

1 宮廷装束の雅 — 知識と技の伝承 —

日時 | 9月28日(土) 午後2時～午後3時30分 (開場午後1時30分)
講師 | 山科言親さん (衣紋道山科流30代家元後嗣)

2 光源氏のみた平安ファッション

日時 | 11月2日(土) 午後2時～午後3時30分 (開場午後1時30分)
講師 | 鳥居本幸代さん (京都ノートルダム女子大学名誉教授)

琴演奏会 (無料・申込不要・雨天の場合:各回50名・先着順)

日時 | 10月12日(土) ・午前の部:午前11時～正午
・午後の部:午後2時～午後3時

演奏 | 小田貴美子さん・折田美智代さん・中村幹枝さん

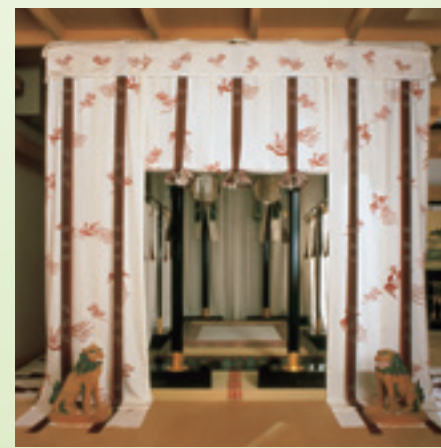
対象 | どなたでも

会場 | 当館玄関前(雨天の場合 研修室)



平安中期の「十二単」

成人女性の宮中での盛装。「唐衣裳姿」ともいわれます。



御帳台

寝殿の建物内で、風を避け寒さを防ぐため、四方に帳を巡らせたものです。この中で座ったり寝たりします。



貝合

伏せた複数の貝から、一対になるものを選び出すのを競う遊び。貝の内側には、やまと絵が描かれています。

ワークショップ ※事前申込みは、QRコードから広島県電子申請システムによりお申込みください。

牛車乗車体験

※特別入館券が必要・予約不要
会期中、当館エントランスホールで、牛車に乗って写真撮影ができます。

平安・中世衣装着用体験

※特別入館券が必要・予約不要
会期中、当館エントランスホールで、平安時代や中世の衣装を着て写真撮影ができます。

十二単着付け実演ショー (無料・申込不要・各回280名・先着順)

日時 | 10月5日(土)・6日(日)、11月16日(土)・17日(日)

・午前の部:午前11時～正午
・午後の部:午後2時～午後3時

講師 | 木村玲子さん・波多野方乃さん・佐々木純子さん

対象 | どなたでも

会場 | 当館講堂



物具装束

厳儀(おごそかな儀式)の時に着用された、奈良時代の礼服の形を残した装束。

王朝料理

保延3年(1137)9月、崇徳天皇が仁和寺法金剛院御所に行幸したときの料理。調味料などを加えない、素材そのままの味だったようです。

間香体験 (各回120名・先着順)

※無料・事前申込みが必要

日時 | 10月13日(日) ・午前の部:午前10時30分～正午
・午後の部:午後1時30分～午後3時

講師 | 香道御家流 和草会

対象 | 小学生以上(小学生は保護者同伴)

会場 | 当館講堂

薫物作り体験 (各回20名・先着順)

※事前申込みが必要

日時 | 10月19日(土) ・午前の部:午前10時30分～正午
・午後の部:午後1時30分～午後3時

講師 | 田中圭子さん(佐賀大学地域学歴史文化研究センター 特命研究員)

対象 | 小学生以上(小学生は保護者同伴) 費用 | 材料費2,000円

会場 | 当館研修室

